

# サルキル

鶏用飼料添加物

for Layers & Breeders

腸の健康が収益に繋がります

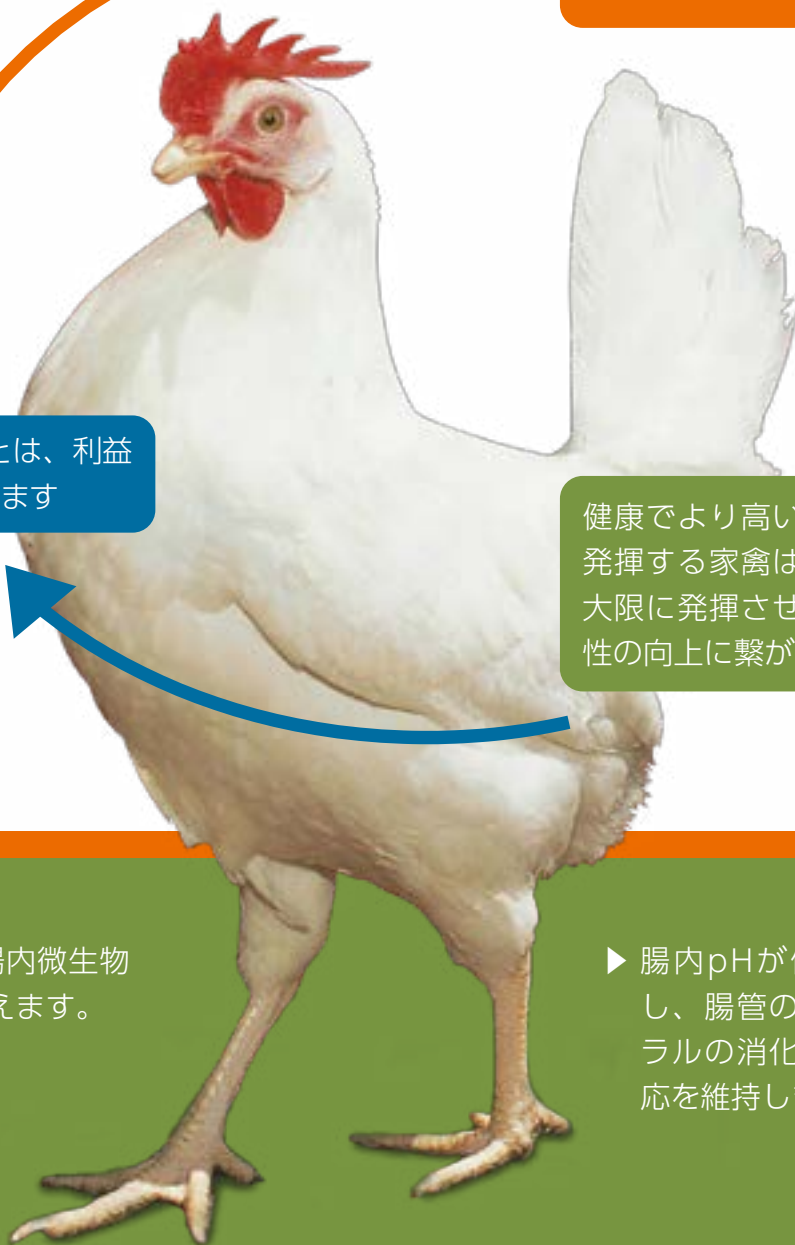
サルキルは善玉菌が増殖しやすい環境を作り、結果として腸の健康を維持する作用があります

生産性が向上することは、利益が増えることに繋がります

健康でより高いパフォーマンスを発揮する家禽は、遺伝的能力を最大限に発揮させます。それは生産性の向上に繋がります。

▶ 腸内pHが下がると、腸内微生物叢に直接的な影響を与えます。

▶ 腸内pHが低下するのを手助けし、腸管の構造、栄養素とミネラルの消化性と利用性、免疫反応を維持します。



## 作用機序

有機酸は多くの特性を持っていますが特徴的なのは抗微生物活性になります。また、家禽の健康とそのパフォーマンスにとって最も重要なのは腸内微生物叢です。有機酸をベースにした製品の主要な目的は、飼料と好ましくない微生物による腸内の汚染を低減することで、サルキルの主な働きは飼料中や飲水、直接的には腸管内の微生物をコントロールすることになります。

## 主な働き

サルキルは飼料の2次汚染を阻止し、腸内微生物叢を最適化する働きを持っています。

- ①栄養素の消化を手助けすると共に、病原体の排出や生得的免疫を維持します。予防的に使用される抗生物質と抗生物質による成長促進因子を用いる必要性を少なくします。
- ②スポンジ状の多孔性ミネラル担体の上に存在した状態で吸収されるので、徐放性を発揮します。それは、飼料中での2次汚染を予防し、さらに生体内での有効に作用することを意味します。
- ③腸内の共生的好酸性微生物叢にとっての理想的な微環境を提供するユニークな担体を有しており、腸内で好酸性微生物叢が優勢になるのを手助けします。
- ④プロバイオティクスとの併用や競合する排除産物を亢進する必要があるときに用いるには理想的な製品です。

## 飼料に入れる利点

汚染された飼料や飲水は、農場におけるサルモネラや他の潜在的な病原体による感染の原因になります。サルキルは飼料の汚染を低減し、輸送中及び飼料タンク内での病原体による汚染を予防します。

## 家禽類に対する利点

病原体の数を減らすことによって腸絨毛の長さを良好に保ち、栄養素の吸収を増進させ、結果的に受精率や成長率を維持する事でより大きく重量のある家禽生産の手助けをします。

腸内の細菌数を減少させると、飼料要求率が改善され増体重が促進され、種鶏、産卵鶏およびブロイラーの全体的な生産性を維持できます。

種鶏に対してサルキルは、受精率の改善をもたらし、より多くのヒナ鶏が生産されることになります。また、種鶏に給与することでヒナに対する好影響が期待が出来ます。

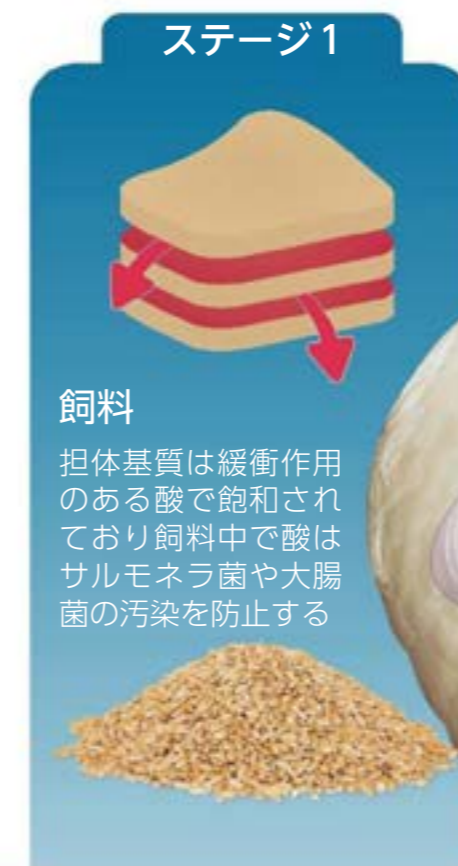
## サルキルの必要性

1. サルキルは飼料中の病原体濃度を低下させるだけでなく、2次汚染の予防が可能です。
2. 家禽の生産にはサルモネラ感染の予防は避けて通れません。疾病が発生すると免疫システムはエネルギーを必要としますが、その闘いを無くす事ができればエネルギーの節約にも繋がります。
3. 腸絨毛の長さを良好に保つ事が栄養素の吸収を増進させます。

## 特殊な担体の働き

液状のギ酸とプロピオン酸をユニークな担体に吸着コーティングする事で乾燥顆粒状態になります。

酸が腸管内腔中で酸が消失しないように担体に吸着保護されています。



その担体は、腸管全体にわたって酸の放出を制御することが確認されています。

ミネラル担体中の酸は、有用菌(例えば乳酸菌から盲腸のブチリビブリオまで)のコロニー形成により飼料中栄養素の発酵を促進します。

▶ 腸内の共生微生物叢は、酵素生産、ビタミン供給、免疫系サポートなどの多くの機能を有しており、サルキルはその共生微生物叢をサポートする役割がある。

▶ 飼料中の酸は直接的にキレート化と呼ばれるプロセスによってミネラルの生物利用性を改善し、受精率、卵殻質、成長率を亢進します。酸は、動物の遺伝的能力達成を手助けすることによって家禽の生産性を維持するのに役立っています。

# 試験

## 種鶏とヒナへのパフォーマンスに及ぼす影響

本試験では、ブロイラーの種鶏へのサルキル (2kg/t) の効果を検証した。種鶏の健全な繁殖性をサポートする飼料に添加されたサルキルの能力とヒナに及ぼす効果が調査された。

- ▶サルキルを種鶏群の飼料に添加する。種鶏の繁殖の健全性を試験期間中の20週間にわたってサポートした。
- ▶Salkilを摂取した35週齢と45週齢の種鶏のそれぞれのヒナは、サルキルを摂取していない鶏よりもパフォーマンスが良好であった。
- ▶種鶏用の飼料にサルキルを添加すると、種鶏の全体的な健康と受精率をサポートし、それがヒナの健康を維持することにつながると考えられる。

## サルキル添加量

短期間での集中給与	4kg/t
飼料の長期間保護	2kg/t
産卵鶏や種鶏への継続使用	2kg/t

剤 型：20kg

有効成分：ギ酸・プロピオン酸・着香料

賦形物質：バーミキュライト

## 35週齢種鶏のパフォーマンス

	対照	サルキル
卵生産率 (%)	78.34	78.16
生存ヒナ数/日	19.06	20.28
1日齢以上ヒナ割合		+5%

## 45週齢種鶏のパフォーマンス

	対照	サルキル
卵生産率 (%)	71.27	71.85
生存ヒナ数/日	18.51	19.17
1日齢以上ヒナ割合		+2%

## 35週齢の親鶏から得られたヒナのパフォーマンス

	対照	サルキル	SEM	P値
飼料摂取量 (g)	4970	5030	74	0.428
増体重 (g)	2837	2910	26	0.011
相対的腸管の効率 (g/g)	1.75	1.73	0.03	0.212

## 45週齢の親鶏から得られたヒナのパフォーマンス

	対照	サルキル	SEM	P値
飼料摂取量 (g)	5127	5118	57	0.326
増体重 (g)	2842	2934	26	0.024
相対的腸管の効率 (g/g)	1.80	1.74	0.04	0.033